引受保険会社

アクサ生命保険株式会社

redefining / standards

未来円満（みらいえんまん）

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06）

2010年度
特別勘定の現況
（世界分散型３０ＡＬ（５０３））
決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

ホームページアドレス　**http://www.axa.co.jp/life/**
お問い合わせ先　　**0120-375-193**
＊受付時間：平日9：00～17：00（土・日・祝日および12月31日から1月3日は休業とさせていただきます。）

【利用する投資信託の委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、世界有数の金融機関である米国ステート・ストリート銀行グループに属します。1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。また、母体であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（SSgA)は、世界有数の資産運用額を誇る米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門です。ステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統ある金融機関です。

※2008年7月1日付で、「ステート・ストリート投信投資顧問株式会社」は、「ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社」へ商号変更いたしました。

- アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06）」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06）」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしていますので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（０６）
特別勘定の現況（2010年度）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 ［ 2010年4月～2011年3月 ］

【日本株式市場】

日本株式市場は、下落しました。TOPIX（東証株価指数）は前期末比▲11．18%下落の869．38ポイント（前期末は978．81ポイント）で終了しました。
5月に、欧州の債務危機を背景としたリスク資産圧縮の動きや米国景気の先行き懸念、円高の進行などから大幅に下落して以降軟調な展開が続きました。11月にFRB（米連邦準備制度理事会）の追加金融緩和策決定を好感して上昇に転じ、その後も外国株式市場の上昇や円高が一服したことなどを受けて、堅調な推移が続きました。2月に中東・北アフリカ政情不安による原油価格上昇から下落し、3月11日に東日本大震災が発生すると、地震被害の拡大や原発事故の深刻化が懸念され、さらに大幅に下落しました。
業種別（東証33業種）では、原油価格の上昇を受けて「石油・石炭製品」（前期末比＋28．45%）が最も上昇した一方、震災の影響が懸念される「電気・ガス業」（同▲34．02%）が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇しました。NYダウは前期末比＋13．48%上昇の12，319．73ドル（前期末は10，856．63ドル）で終了しました。
8月までは、欧州債務危機再燃によるリスク資産圧縮の動きが世界的に強まり下落しました。9月以降、良好な経済指標の発表や好調な企業業績、金融緩和への期待などに支えられて株価は上昇基調で推移しました。2月以降、中東・北アフリカの政情不安や東日本大震災により一時下落しましたが、景気回復期待などから再び上昇に転じて期末を迎えました。
欧州株式市場も米国同様の動きとなり、上昇しました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比＋4．03%上昇、仏CAC40は同＋0．38%上昇、独DAXは同＋14．43%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、金利低下の後、10月中旬以降は金利上昇基調で推移しました。新発10年国債利回りは1．255%となりました（前期末は1．395%）。
欧州債務危機などから株価の下落基調が続いたことや米国長期金利が低下したことなどが買い材料になり、10月上旬には金利は一時0．9%を割り込みました。その後、米国長期金利が上昇傾向となったことや株価が堅調な推移を続けたことなどから、2月に1．35%近辺まで上昇しました。しかし、東日本大震災の発生によるリスク回避の動きを受け、期末にかけて金利は低下しました。
日銀は、10月5日に政策金利である無担保コール翌日物金利の誘導目標を年0．1%から0～0．1%程度に変更しました。
無担保コール（翌日物）は0．1%程度の水準で推移しました。

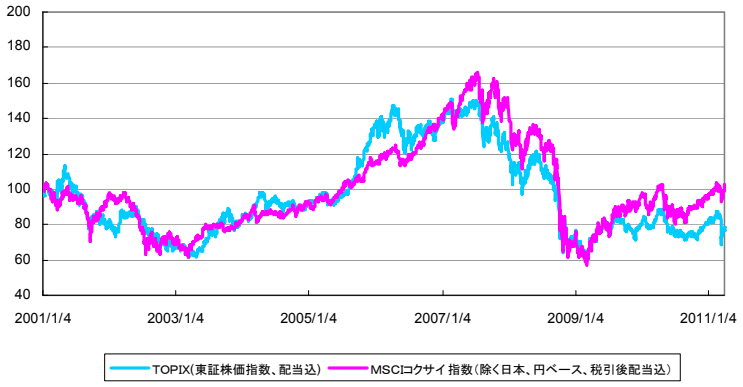
【外国債券市場】

米国債券市場は、10月までは、欧州債務危機や米国の金融緩和の思惑が強まったことなどが買い材料となり、金利は低下しました。その後、大型減税継続決定による景気回復期待などが売り材料となり、米10年国債利回りは、期末は3．470%となりました（前期末は3．826%）。
欧州債券市場は、8月までは、欧州債務危機によるリスク回避の動き、ギリシャやアイルランドの国債が格下げされたことなどから金利が低下しました。しかし、景気回復懸念が後退したことやECB（欧州中央銀行）による利上げ観測の高まりなどを受けて上昇に転じ、独10年国債利回りは、期末には3．354%となりました（前期末は3．092%）。
FRBは、FF（フェデラル・ファンド）金利の誘導目標を据え置き、年0．0～0．25%を維持しました。ECB（欧州中央銀行）は政策金利を据え置き、年1．0%を維持しました。

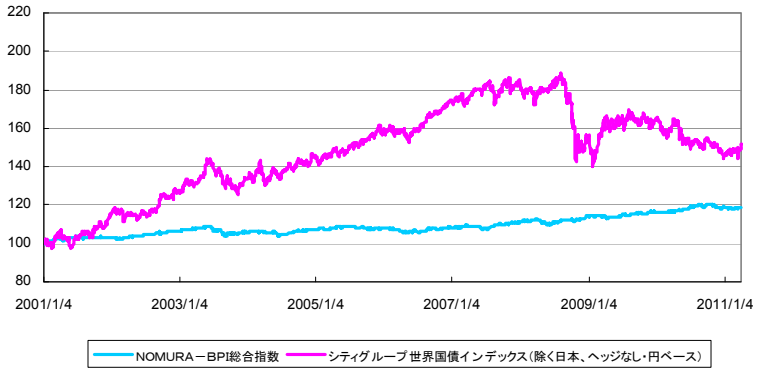
【外国為替市場】

米ドル／円相場は、10月までは、米長期金利の低下や米国景気の先行き懸念によるリスク回避の動きから円高基調での推移となりました。その後、景気回復期待や米国長期金利が上昇傾向になったことなどから、3月までは概ね79円～84円台のレンジ内で推移する展開となりました。一時、東日本大震災の発生を受けて、円高が進行し76円前半の史上最高値を付ける局面もありましたが、期末には、円は対ドルで前期末比9円89銭（＋10．63%）円高ドル安の1ドル＝83円15銭となりました。
ユーロ／円相場は、4月のギリシャ国債格下げや欧州債務危機を受け、リスク回避の動きが強まったことから円高ユーロ安となり、その後は概ね106円～115円台のレンジで推移しました。期末には、円は対ユーロで前期末比7円35銭（＋5．88%）円高ユーロ安の1ユーロ＝117円57銭となりました。

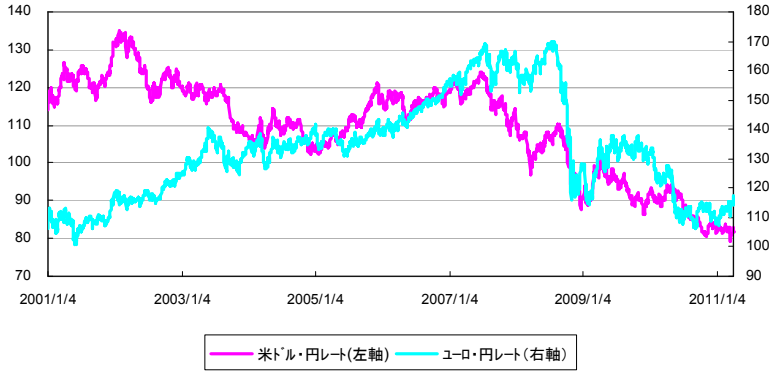
日本と外国の株式市場の推移
＊下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



日本と外国の債券市場の推移
＊下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL：0120-375-193
アクサ生命ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.axa.co.jp/life/

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（０６）
特別勘定の現況　（2010年度）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用方針および運用状況 [2011年3月末日現在]

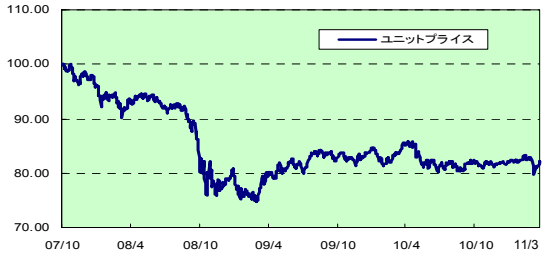
特別勘定名	特別勘定の運用方針
世界分散型30AL（503）	当特別勘定は、主として国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託を運用対象としており、次年度も今年度と同様の運用方針で運用します。
利用する投資信託	**利用する投資信託の運用方針**
ステート・ストリート ４資産バランス30VA ＜適格機関投資家限定＞	● 当ファンドは、 ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券15%、 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券35%、 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券15%、 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券35%* を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 * 当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入外貨建資産の35%のうち20%部分について、原則として為替ヘッジを行います。 ● 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。 ● 当ファンドの主なリスク ・価格変動リスク　・信用リスク　・カントリーリスク　・為替リスク

■特別勘定の運用コメント （2010年4月1日 - 2011年3月末日）

2010年度のユニット騰落率は▲3．14%となりました。
外国株式は、好調な米マクロ経済指標や企業業績、追加の金融緩和期待を背景に緩やかに上昇しましたが、国内株式は、3月に発生した東日本大震災の影響で下落しました。債券を含めた各資産の年間の変化率が小幅に留まったことから、ユニットプライスに与える影響は限定的でした。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニットプライス		騰落率（%）	
2011年3月末	82.14	過去1ヵ月	▲ 0.53
2010年12月末	81.54	過去3ヵ月	0.74
2010年9月末	82.00	過去6ヵ月	0.17
2010年6月末	80.46	過去1年	▲ 3.14
2010年3月末	84.81	過去3年	▲ 10.52
2009年12月末	83.71	設定来	▲ 17.85

・世界分散型30AL（503）の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日（2007年10月9日）を100．00として計算しております。
・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型30AL（503）	
	金額（千円）	比率（%）
その他有価証券	14,655,816	99.2
現預金・コールローン	121,301	0.8
その他	－	－
合計	14,777,118	100.0

・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額（千円）
利息配当金収入	33
有価証券売却益	－
有価証券評価益	－
有価証券償還益	－
為替差益	－
その他収益	－
有価証券売却損	－
有価証券評価損	105,776
有価証券償還損	－
為替差損	－
その他費用及び損失	58,476
収支差計	▲ 164,220

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL：0120-375-193
アクサ生命ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.axa.co.jp/life/

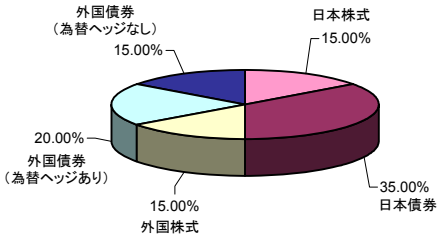
保証金額付特別勘定年金特約（定期II型）付変額個人年金保険（０６）
特別勘定の現況（2010年度）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス30VA＜適格機関投資家限定＞の運用状況 [2011年3月末日現在]

■ファンドの特色

【基本配分比率】



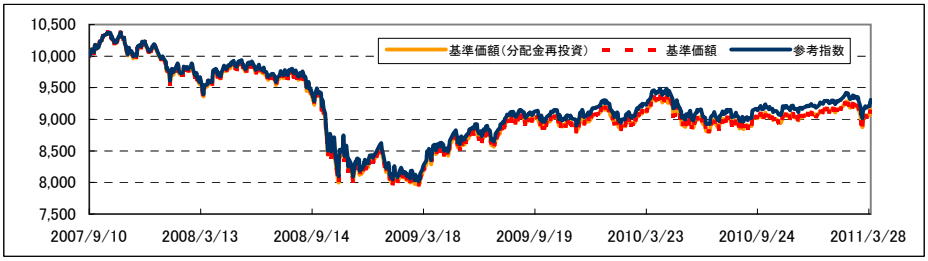
当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク（運用成果を判断するうえで基準とする指数）と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券：「TOPIX（東証株価指数配当込み）」
ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券：「NOMURA－BPI総合指数」
ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券：「MSCIコクサイ・インデックス（円ベース）」
ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券：「シティグループ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）」*
*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入外貨建資産の35%のうち20%部分について、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティグループ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）」となります。

■基準価額の推移

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、ステート・ストリート4資産バランス30VA＜適格機関投資家限定＞の設定日（2007年9月10日）を10，000として指数化しています。
・基準価額および基準価額（分配金再投資）は、信託報酬（純資産総額に対し、年率0．2625%程度（税抜0．25%程度））控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・参考指数は、TOPIX（東証株価指数配当込み）15%、NOMURA－BPI総合指数35%、MSCIコクサイ・インデックス（円ベース）15%、シティグループ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）15%、およびシティグループ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）20%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2011年3月31日	前月末	前月末比
基準価額	9,168 円	9,199 円	▲ 31 円
純資産総額（百万円）	14,656	14,706	▲ 50

	基準価額	日付
設定来高値	10,371 円	2007年10月11日
設定来安値	7,954 円	2009年3月10日

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲0.34%	1.32%	1.34%	▲0.87%	▲4.08%	▲8.32%
参考指数	▲0.28%	1.41%	1.48%	▲0.58%	▲2.88%	▲6.89%
差	▲0.05%	▲0.09%	▲0.14%	▲0.28%	▲1.20%	▲1.43%

・ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	15.00%	14.22%
日本債券	35.00%	34.61%
外国株式	15.00%	15.57%
外国債券（為替ヘッジあり）	20.00%	20.40%
外国債券（為替ヘッジなし）	15.00%	15.72%
短期金融資産	0.00%	▲0.52%
合計	100.00%	100.00%

・ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
・REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

・下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります。

■組入上位5カ国

国名	比率
日本	48.83%
アメリカ	22.15%
イギリス	4.47%
フランス	4.33%
ドイツ	4.14%

■組入上位5通貨

通貨	比率
円	69.23%
米ドル	14.12%
ユーロ	9.15%
ポンド	2.87%
加ドル	1.39%

・上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL：0120-375-193
アクサ生命ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.axa.co.jp/life/

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（０６）のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】
この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの変額個人年金保険です。
特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払いもどし金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】
ご契約者等にご負担いただくこの保険の費用は、次のとおりです。

〈積立期間中および保証金額付特別勘定年金（定期）支払期間中にかかる費用〉

項目		費用	ご負担いただく時期
契約初期費用	ご契約の締結等に必要な費用	一時払保険料に対して 5．0%	特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。
保険契約管理費	支払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要な費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2．3%	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	特別勘定の運用等に必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0．2625%程度 （税抜0．25%程度）	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

＊ 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。
＊ 運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

〈年金の種類の変更またはすえ置期間付年金への移行により10年保証期間付終身年金または確定年金を選択した場合の年金支払期間中にかかる費用〉

＊「年金払特約（06）」による年金の支払を行なう場合も同様です。

項目		費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して 1．0%	年金支払日に責任準備金から控除します。

＊ 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

この商品にかかわる費用の合計額は「契約初期費用」、「保険契約管理費」、「運用関係費」の合計額となります。
年金の種類の変更またはすえ置期間付年金への移行等をご選択の場合、他に「年金管理費」がかかります。

【その他の留意事項について】
■受取総額保証金額（定期型）
受取総額保証金額の最低保証は、据置期間（5年～17年）と特別勘定年金受取期間（3年～15年）の合計期間が20年である場合に限られます。積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL：0120-375-193
アクサ生命ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.axa.co.jp/life/